

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 3 月 22 日 (2012.3.22)

【公開番号】特開 2009-302508 (P2009-302508A)

【公開日】平成 21 年 12 月 24 日 (2009.12.24)

【年通号数】公開・登録公報 2009-051

【出願番号】特願 2009-38453 (P2009-38453)

【国際特許分類】

H 0 1 L 21/683 (2006.01)

H 0 1 L 21/3065 (2006.01)

C 2 3 C 16/46 (2006.01)

C 2 3 C 16/458 (2006.01)

C 2 3 C 14/34 (2006.01)

C 2 3 C 14/50 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/68 R

H 0 1 L 21/302 1 0 1 G

C 2 3 C 16/46

C 2 3 C 16/458

C 2 3 C 14/34 J

C 2 3 C 14/50 A

C 2 3 C 14/50 E

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 2 月 8 日 (2012.2.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板を保持する基板保持機構と、
前記基板保持機構の下部に配設される加熱機構と、
前記基板保持機構と前記加熱機構との間に接触した状態で介装されて、当該加熱機構で発生した熱を前記基板保持機構へ伝える熱伝導性部材と、を有し、
前記熱伝導性部材は、中央部がくり抜かれた第 1 シート部を有することを特徴とする基板保持装置。

【請求項 2】

前記熱伝導性部材は、前記第 1 シート部と前記加熱機構との間にプレート状の第 2 シート部をさらに有することを特徴とする請求項 1 に記載の基板保持装置。

【請求項 3】

前記第 1 シート部は、リング状又は枠体状であることを特徴とする請求項 1 に記載の基板保持装置。

【請求項 4】

前記第 2 シート部は、円盤状又は矩形状であることを特徴とする請求項 2 に記載の基板保持装置。

【請求項 5】

前記基板保持機構の外縁部は、弾性を有する複数の係止部材によって前記加熱機構に固

定されることを特徴とする請求項 1 に記載の基板保持装置。

【請求項 6】

前記基板保持機構は、前記基板を静電力により吸着保持することを特徴とする請求項 1 に記載の基板保持装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

上記課題を解決し、目的を達成するために、本発明の基板保持装置は、基板を保持する基板保持機構と、前記基板保持機構の下部に配設される加熱機構と、前記基板保持機構と前記加熱機構との間に接触した状態で介装されて、当該加熱機構で発生した熱を前記基板保持機構へ伝える熱伝導性部材と、を有し、前記熱伝導性部材は、中央部がくり抜かれた第 1 シート部を有する。